

リウマチ・膠原病内科

主な対象疾患

- ・関節リウマチ
- ・全身性強皮症
- ・血管炎症候群
- ・成人発症スチル病をはじめとする自己炎症症候群
- ・リウマチ性多発筋痛症、RS3PE症候群
- ・全身性エリテマトーデス
- ・混合性結合組織病
- ・ベーチェット病
- ・皮膚筋炎/多発性筋炎
- ・シェーグレン症候群
- ・IgG4関連疾患
- ・脊椎関節炎



資格等

日本内科学会認定内科医
日本リウマチ学会専門医・指導医・
登録ソノグラファー
医学博士

副医長

つぼい かずゆき
壺井 和幸

H25年卒

■その他当科の医師が保有する資格

日本アレルギー学会専門医・指導医
日本病態栄養学会専門医・指導医
日本臨床栄養代謝学会認定医・指導医

診療科の特徴

●関節リウマチへの「最新治療」と「精密診断」

関節エコーを用いた詳細な評価を行い、生物学的製剤やJAK阻害薬などの最新薬を積極的に導入しています。

発症早期からの介入で、速やかに病勢を抑え込む治療を実践します。

●総合病院の強みを活かした「全身管理・合併症対応」

多臓器にわたる膠原病の病変に対し、総合内科や各専門科と密に連携して対応します。「リウマチ肺」などの関節外症状や、長期治療で課題となる感染症・薬剤副作用の管理も徹底しています。

●難病患者さんの不安に寄り添う「チーム医療」

指定難病を含む長期の療養に対し、丁寧な説明と相談しやすい雰囲気づくりを心がけています。患者さんの抱える不安や不調を一緒に解決・克服できるよう、全身的なアプローチでサポートします。

地域医療機関の先生方へ：ご紹介時のお願い

- ・事前予約と情報の共有：診断の参考となる**血液検査結果や画像データの共有**をお願いいたします。
- ・病状安定後の共同管理：病状が安定した患者さんについては、地域の先生方のもとで継続診療いただけるよう積極的な逆紹介を行っております。地域一体での長期管理にご協力をお願いいたします。